

NewsLetter

自治医科大学地域医療オープン・ラボ



Vol.184,May,2024

鈴木善幸先生（新潟9期）第17回地域医療貢献奨励賞受賞

魚沼市立小出病院 院長 布施 克也（新潟7期）

今回鈴木善幸先生（新潟9期）が受賞した第17回となる一般財団法人住友生命福祉文化財団の「地域医療貢献奨励賞」とは、永年に亘り地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に著しい寄与・貢献があるとして、都道府県から推薦のある医師を表彰する制度です。鈴木先生の永年に亘る「地域総合診療教育の実践」を新潟県が強く推薦したことで今回の受賞に至りました。

鈴木先生は1986年に自治医科大学を卒業し、新潟大学・県立中央病院で研修後、総合内科医として県内医療機関を歴任し、2006年から県立で最小（55床）の松代病院へ赴任し、2008年からは同病院院長を務めました。へき地病院における教育活動が高く評価され、乞われて2017年から現在の魚沼市立小出病院（134床）地域医療教育・研修センター長に赴任しました。

県の推薦文には、地域医療の最前線である松代病院でのエピソードが記されています。学校医を務める松代小・中・高校において、「M12/14/16プロジェクト」と題し12歳・14歳・16歳の計3回にわたって研修医とともに禁煙授業するという取り組みです。子供たちを「将来の地域資源」と捉える視点はヘルスプロモーションと地域医療教育の両方の視点から高く評価されました。

現任地である小出病院での八面六臂多彩な教育活動も、県は高く評価しました。現在は県主催の総合診療専門研修プログラムに引き継がれましたが、2016年から県の委託を受けて、全県の初期研修医を対象に、医療モデルから生活モデルまでトータルにマネジメントできる総合診療医育成を目的に「TMM (Total Medical Management) 講座」の統括講師を務めました。教育・研修センター長として、新潟大学や岩手医科大学医学生への地域医療臨床実習、長岡日赤病院・東京慈恵会医科大学・県立十日町病院・魚沼基幹病院からの地域医療研修を受け入れ、多職種連携、地域包括ケアシステムのリーダーとなる医師の育成を目標とした総合診療指導・主治医意見書記載による高齢者総合評価の指導の質の高さは、学生・研修医から絶大な評価を得ています。専門職と住民の合同研修会である「地域医療魚沼学校」における「健康情報のうそ・ほんと」や「新型コロナワクチンについて学ぼう」「呼吸のミステリーなぜ呼吸は苦しくなるのか」などの熱量のある明快な講義は地域医療学校の名物です。また医師も含めた院内多職種のリスクリング講義「Common Disease Lectures」は、院内でのハイレベルな学習機会としてわれわれ病院管理部は高い評価をしています。

これらの取り組みが評価され、2018年には全国自治体病院協議会から「へき地医療貢献者表彰」を受賞し、そして継続実績がさらに高く評価され今回の受賞につながったのです。へき地勤務で培われた地域baseの卓越した総合診療医であり、情熱的な地域医療教育者でもある鈴木先生の受賞をよろこび、2024年4月26日に多くの関係者による「祝いの集い」が盛大に開催されたことを報告したいと思います。

2017～ 地域医療教育・研修センター長

- TMM講座 total medical management
 - 県内臨床研修医
- 医学部地域医療実習
 - 新潟大学・岩手医科大学など
- 医師臨床研修 地域医療・外来研修
 - 長岡日赤・東京慈恵医大・十日町病院・魚沼基幹病院など
- 地域医療魚沼学校
 - 医学生・研修医・多職種連携・住民参加
- Common disease lecture
 - 院内多職種・old doctors



参考

地域医療魚沼学校 <https://uonuma-medical.jp/koide/center10/>

魚沼市立小出病院 地域医療教育・研修センター <https://uonuma-medical.jp/koide/center09/>